

薬学部の3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）について

臨床薬学科

1. 学位授与の方針【ディプロマ・ポリシー】

臨床薬学科では、基礎薬学としての化学系薬学や物理系薬学ならびに生物系薬学を体系的に学ぶとともに、高度な医療薬学の基礎的および臨床的教育を学修し、さらに臨床にかかわる実践的な実務能力を持つことが求められる。そして、医療薬学の将来を担う指導者、教育者、研究者へと発展可能な人材に学位を付与する。本学部（臨床薬学科）において学んだ学生は、卒業（学位の授与）に際して、以下の目標に到達することが期待される。

| 1 | 知識・理解

化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学及び医療系薬学を基盤とした幅広い知識を理解し、論理的に思考できる。

医薬品の適正使用を推進するため、服薬指導・薬歴管理・リスクマネジメント・効果的で安全な薬物療法の提供など、薬剤師としての知識を持っている。

治験や臨床試験など、医薬品開発に関する業務、プロセス、法律一般について基礎的な内容を理解している。

| 2 | 専門的な技能

創薬研究を遂行するための基礎能力を持っている。

科学的思考力に基づく研究遂行と問題解決の基礎能力を持っている。

医薬品の適正使用を推進するため、服薬指導・薬歴管理・リスクマネジメント・効果的で安全な薬物療法の提供など、薬剤師としての技能を習得している。

治験や臨床試験のプロトコール作成などを通して医薬品開発の一旦を担う技能を習得している。

臨床研究シーズ発掘を担う研究者・教育者へ発展し得る素養を持っている。

| 3 | 汎用的な技能

実社会対応の実践型研究を実施できる課題の探求や問題を解決する基礎的な能力を持っている。

将来、指導的な立場で活躍できるよう、的確で総合的な判断力と課題を探求する基礎的な能力を習得している。

プレゼンテーションおよび討論の基礎的な能力を持っている。

国際的に活躍するための基礎的な能力を持っている。

| 4 | 態度・志向性

自ら主体的に研究を遂行できる基礎的な能力を持っている。

豊かな人間性ととも、医療人としての深い感性や高い倫理観を持っている。

模擬患者による演習や実務実習を通じて、コミュニケーション能力を含めた高度な課題に取り組む能力を持っている。

チーム医療に参画できる基礎的な技能や態度を習得している。

2. 教育課程の編成・実施について基本方針【カリキュラム・ポリシー】

学生が上記の目標（ディプロマ・ポリシー）に到達するため、以下のようなカリキュラムを編成する。

【カリキュラムの基本構造】

6年の教育課程を前期3年、後期3年として捉える。このため、前期では基礎的な薬学系科目を中心として、人文科学と自然科学を含む幅広い教養教育を重視したカリキュラムを組んでいる。後期では医療薬学系の科目や薬剤師の職能教育に必要な実践的な薬学系科目を組んでいる。

4年次の後期に行われる共用試験（薬局や病院の現場に出る前に、実務実習に必要な基本的な知識・技能・態度を身につけていることを保証するために行われる試験）に合格すると、5年次に行われる実務実習を行うことができる。

5年次に医療従事者としての薬剤師養成のため、また薬学生が薬剤師を体験する機会として、5ヶ月間の業務参加型の実務実習を病院と薬局で行う。実務実習は、医療現場で実務についている薬剤師の方々と本学科の教員とが協力して実施する。

本学科の特徴として、研究者マインドを持つ薬剤師としての素養を身につけるため、4年から6年次に研究室に所属して、経験豊富な教員の指導の下で、個別に卒業研究を行う。

臨床薬学科を卒業すると薬剤師国家試験受験資格が与えられる。

3. 入学者受け入れの方針【アドミッション・ポリシー】

| 1 | 求める学生像（知識、能力、適性等）

高等学校卒業レベルの十分な基礎学力を持つとともに、理科学科（化学、生物および物理）に対して興味や関心を持つ学生の入学を期待する。

科学研究に対して高い興味や関心を持つ学生の入学を期待する。

医療人として患者や医療従事者等とコミュニケーションを取ることができ、医療人としての倫理観が育つ素養を持つ学生の入学を期待する。

| 2 | 入学者選抜の基本方針（入学要件、選抜方式、選抜基準等）

【一般入試（前期日程）】

高等学校卒業レベルの十分な学力を持ち、薬学の諸科目を学修し、薬を通して社会

に貢献できる素養をもつ学生を選抜するために、大学入試センター試験で5教科7科目を課すとともに、個別学力検査（前期日程）では数学、理科、外国語の試験を課し、基礎学力および論理的思考能力を判定する。

【一般入試（後期日程）】

高等学校卒業レベルの十分な学力を持ち、学の諸科目を学修し、薬を通して社会に貢献できる素養をもつ学生を選抜するために、大学入試センター試験で5教科7科目を課すとともに、個別学力検査では外国語試験に加え、面接を課し、読解力、批判的な思考能力、表現力などを総合的に判定する。

【転学科について】

創薬科学科への転学科については、選考の上、若干名これを許可する制度がある。